

「金の道サミット in 佐渡」共同宣言

江戸と越後・佐渡を結ぶ「金の道」は、江戸時代以降、主要街道として整備が進み、その沿線には宿場町が形成されました。多くの人々が往来したその宿場町には、今もなお、まちづくりの礎となる地域資源が数多く残されています。

私たちは「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の世界文化遺産登録推進活動を契機に、関連自治体が一体となり、「金の道」とその周辺地域の文化資源・魅力を再発掘し、地域の活性化を図ることを目的に、次の事項に取り組むことをここに宣言します。

一、関連自治体間の広域的な連携・協力関係を築きつつ、それぞれの地域の魅力を再発掘し、発信するプロジェクトを展開するとともに、積極的に国内外への情報発信を推進します。

一、地域住民や団体等との連携・協働を図り、沿線の自治体間のさまざまな交流を促進し、各地域の特性を活かした販売戦略の協働化を目指します。

一、沿線のそれぞれの自治体が抱える課題や文化資源を活かした取組みを相互に学びあい、歴史的資産としての魅力や活力を高め、住民による自主的な活動を積極的に支援します。

平成27年11月7日

金の道サミット in 佐渡 参加者一同

(出雲崎町、柏崎市、上越市、妙高市
長岡市、燕市、魚沼市、南魚沼市
千曲市、佐渡市)